

大月市立鳥沢小学校「学校支援地域本部(学校支援ボランティア)」

《鳥沢小学校での取り組み》

鳥沢小学校では、各学年で、さまざまな地域ボランティアの方が学習支援をおこなっている。継続的な講師の方が多く、扇山管理委員会の方による扇山森林学習をはじめ、米作りやしめ縄づくり、昔遊びなど、学校教育に携わり続けている。

6年生では、扇山を題材とした森林学習で、環境や動物、間伐材、観光化などをテーマとして児童がこれからの地域の在り方について積極的に提案するという授業を行っている。自分たちの身近にある自然・森林を理解・体験し、当事者意識を持って地域の方とともに学習に臨むことが自分たちの成長に繋がっている。長年にわたり、地域全体で子どもを育て、支援をし続けている活動が印象的である。

《鳥沢小学校での事例》

鳥沢小学校学校支援活動

場 所：鳥沢小学校

参 加 者：鳥沢小学校の児童・職員、地域ボランティア

活動内容：

地域の方の学習への参画を、教育課程に位置づけ、様々な形で支援を受けている。特に扇山管理委員会を講師に迎える森林学習は、実際に6年生が山に行き、枝打ちや下草刈りといった作業を体験することから多くの学びを得ている。環境を考え、間伐材の活用法や地域の観光資源として扇山を考えることで、児童の学びを地域の方と共に深めている。11月には、地域の方やお世話になっている講師の方に対して、これまでの学習成果と感謝を伝える学習発表会（授業参観）を行っている。年間を通じて学んだことを十分に生かし、自分たちの考える環境課題や、地域の活性化のためにできることを真剣に考えることで、子どもたちが大きく成長する姿を見ることができる。

その他の活動：

鳥沢小学校では、他学年においても米作りをはじめ、地域学習、椎茸の植菌、豆腐作り等、多くの地域支援がある。これらは、今後誰がその担当になっても、各プログラムが実施できるよう、「どのような方が講師となり、内容はどのようなものか」ということを綿密に引き継ぎ学校の共有財産となっている。また講師の方が、支援活動が難しくなった場合には、その方が「次の講師」を学校に紹介することが、長期にわたって行われており、このことが長年にわたるプログラムの実施を支えている。地域の方が親身に学校に協力し、活動しているからこそ、できている支援であると感じる。

